

# 当院の災害対策の実際

## I. 研究目的

当院透析室で避難訓練を計画する際、勤務時間と透析クルの兼ね合いから、スタッフの勤務時間内に避難訓練を行うことが出来ない。しかし、穿刺や返血などがある程度落ち着いた時間であれば訓練が行えると考えた。そこで、患者が透析を行っている最中に、1時間程度で開催でき、なおかつ災害のイメージが分かるような訓練として、卓上訓練を行ったので報告する。

## II. 研究方法

当院血液浄化センターの臨床工学技士・看護師計10名を対象に、災害卓上訓練を実施した。最初に「地震が起こること」と「地震が発生する時間」のみを明かし、予想される被害と対応策をグループワークにて話し合ってもらった。その後に卓上訓練にて地震発生から避難までの対応までを行った。訓練後にアンケートを実施し、勉強会に対する理解度や改善点などを収集した。

## III. 結果

卓上訓練は1時間程度と、患者の透析時間中に訓練を行うことが可能であった。訓練後のアンケートでは、「今回の研修内容は理解できましたか?」という質問に対し「十分理解できた」・「おおむね理解できた」との回答が100%を占め、スタッフの理解につながる訓練であったと評価できる。また、卓上訓練を通じて新たな防災対策が導入されたなど、スタッフの防災意識の向上や透析室の環境を見直すきっかけにも繋がったと考えられる。

## IV. 考察

災害訓練を、卓上訓練で行う事により疑似的な災害体験ができ地震・火災・塩素ガスなど様々なシチュエーションを模擬することが可能と考えられる。また、シナリオさえあればいつでも訓練を行うことができるため、災害訓練を行うハードルが下がると考えられる。

## V. 結論

透析医療における災害教育を定期的かつ業務時間内で行うという点において、卓上訓練は有用な手法であると考えられる。卓上訓練含め、災害に対するイメージを深めるような勉強会や訓練を継続的に行っていくことで、スタッフ一人ひとりの防災意識の醸成に繋がると考えられる。

## 引用文献